

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2017年10月18日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

例題で学ぶ符号理論入門

正誤対象

お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1	対応刷数 2 より 2 までをご参照ください
2	対応刷数 2 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応 刷数	頁	行数, 図・ 表・式番号	誤	正
1	8	式(1.10)	$\mathbf{a}_n = (a_1, a_2, \dots, a_n)$	$\underline{\mathbf{a}} = (a_1, a_2, \dots, a_n)$
1	14	式(1.30)	$\xrightarrow{\begin{matrix} \textcircled{2} \times 2 + \textcircled{1} \\ \textcircled{2} \times (-2) + \textcircled{3} \end{matrix}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 & -2 \\ 0 & -1 & -2 & -3 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$	$\xrightarrow{\textcircled{2} \times (-2) + \textcircled{3}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 0 & -1 & -2 & -3 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$
1	32	2 行目	…符号化により k 個の情報ビット系列(情報ベクトル)は…	…符号化により k 個の <u>情報ビット</u> (情報ベクトル)は…
1	38	下から 8 行目	… $\mathbf{y} = (y_1, y_2, \dots, y_n)$ で表す.	… $\mathbf{v} = (v_1, v_2, \dots, v_n)$ で表す.
1	38	下から 4 行目	$\mathbf{y} = \mathbf{w} + \mathbf{e}$	$\mathbf{v} = \mathbf{w} + \mathbf{e}$
1	39	式(2.27)	$\mathbf{y} = \mathbf{w} + \mathbf{e} = \dots$	$\mathbf{v} = \mathbf{w} + \mathbf{e} = \dots$
1	39	下から 7 行目	…式(2.28)において, k の値を $1, 2, \dots, n$ として…	…式(2.28)において, k の値を <u>0, 1, 2, …, n</u> として…
1	47	12, 13 行目	受信語 \mathbf{y} (2 箇所)	受信語 \mathbf{v} (2 箇所)
1	47	14 行目	$d_H(\mathbf{y}, \mathbf{w})$ を最小にする…	$d_H(\mathbf{v}, \mathbf{w})$ を最小にする…
1	47	例題 2.13 5 行目	$\mathbf{y} = 1011001$	$\mathbf{v} = 1011001$
1	47	例題 2.13 解答 1 行目	\mathbf{y} と w_i	\mathbf{v} と w_i
1	47	式(2.51)	$d_H(\mathbf{y}, w_1) = 4$ $d_H(\mathbf{y}, w_2) = 5$ $d_H(\mathbf{y}, w_3) = 5$ $d_H(\mathbf{y}, w_4) = 3$ $d_H(\mathbf{y}, w_5) = 4$ $d_H(\mathbf{y}, w_6) = 4$ $d_H(\mathbf{y}, w_7) = 2$ $d_H(\mathbf{y}, w_8) = 1$ $d_H(\mathbf{y}, w_9) = 6$ $d_H(\mathbf{y}, w_{10}) = 5$ $d_H(\mathbf{y}, w_{11}) = 3$ $d_H(\mathbf{y}, w_{12}) = 3$ $d_H(\mathbf{y}, w_{13}) = 4$ $d_H(\mathbf{y}, w_{14}) = 2$ $d_H(\mathbf{y}, w_{15}) = 2$ $d_H(\mathbf{y}, w_{16}) = 3$	$\mathbf{y} \rightarrow \mathbf{v}$ に修正
1	75	例題 3.17 1 行目	$f(x) = x^3 + x + 1$ とする. …	$f(x) = x^3 + \underline{x^2} + 1$ とする. …
1	104	例題 5.8 6 行目	…組織符号された	…組織符号化された

1	105	13 行目	…組織符号された	…組織符号化された
1	116	下から 13 行目	…生成多項式の根 $x = \alpha, \alpha^3$ (α^2 は α の共役元より α と独立でない) を代入した…	…生成多項式の根 $x = \alpha, \alpha^3$ を代入した…
2	137	下から 11 行目	…上げる. <u>データコード部と誤り訂正コード部は 5 シンボル…</u>	…上げる. <u>符号語は 229 シンボル…</u>
2	161	11 行目 から 16 行目	<p>である. 式(a.18)より,</p> $\underline{\sigma(z) = \rho(z)u_1(z)} \quad (\text{a.20})$ $\underline{\eta(z) = \rho(z)a_n(z)} \quad (\text{a.21})$ <p><u>とおける. ところが, $\sigma(z)$ と $\eta(z)$ は互いに素であるから $\rho(z)$ は定数となる. よって, γ を定数として</u></p> $\sigma(z) = \gamma u_1(z), \quad \eta(z) = \gamma a_n(z) \quad (\text{a.22})$	<p>である. 式(a.18)において, <u>$\sigma(z)$ と $\eta(z)$ は互いに素より, γ を定数として</u></p> $\sigma(z) = \gamma u_1(z), \quad \eta(z) = \gamma a_n(z) \quad (\text{a.20})$